

# ノロウイルスへの身近な対策



ノロ症状は主に激しい<sup>げり</sup>下痢・<sup>おうと</sup>嘔吐です。  
ノロ感染者の便や吐いたものの中には、ノロウイルスがたくさん含まれています。

《 ノロウイルスを<sup>ひろ</sup>拡げない、体内へ入れないようにするために 》  
(ノロ感染者が使用したトイレの例)

トイレ使用後、  
手指を十分な流水で  
しっかり洗う

⚠️ 手指を“ぬらすだけ”  
では効果不十分です

ドアノブ

便座

床

水洗レバー

便座のフタ

荷物をトイレの床に  
置かないようにする

⚠️ ノロ感染者がトイレを使用した後、床にも  
ウイルスが付いている可能性があります

🗨️ : ノロウイルスを  
<sup>ひろ</sup>拡げないための予防

📦 : ノロウイルスが多く  
付いているところ

荷物の下部

床(特にトイレ内、トイレの出入口付近)  
に置いた荷物は、食卓やキッチンに  
置かないようにする

⚠️ 食事の際、手指や食材を介して  
体内へ入る原因になります

近年のノロウイルス流行時期は11月~4月です。  
ノロウイルス感染は、手指や食材に付いたウイルスが口などから入ることで起こります。  
(まれに、ノロ感染者の便や吐いたものが乾燥してウイルスが空気中に浮遊し、それを吸い込む  
ことで感染することもあります)

新型コロナウイルスの感染予防対策を行うことで、ノロウイルスに感染する確率は下げられます  
が完全には防げません。しかし、物の置き方に注意を払うだけでも感染する確率は変えられます。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会 — 保健室に学校薬剤師が来ます 》  
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用など  
について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！  
11月は中止します。(相談等は保健室の先生まで！)

作成・発行元 北陸大学薬学部  
准教授 大柳賀津夫(学校薬剤師)  
准教授 岡本晃典(薬剤師)

